

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
0		

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 4 月 18 日

川崎市長 殿



提出者

住 所

神奈川県川崎市川崎区扇町13-1

氏 名

株式会社ファーマインド 川崎センター
センター長 神野正人(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 044-366-5969

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社ファーマインド 川崎センター	自 主 管 理 番 号
事 業 場 の 所 在 地	神奈川県川崎市川崎区扇町13-1	TEL(連絡先): 044-366-5969

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E09-食料品製造業 (具体的には)		カットフルーツ製造や青果物の追熟加工	
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	2,800	百万円／年
	建設業	エリア内元請完成工事高		百万円／年
	医療機関	病床数		床
	その他の業種	売上高		百万円／年
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数				
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日 (1 年間)			

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,398.0 t	全処理委託量	3,398.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3,398.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	0 t
※ 事務処理欄			

備考

- 1 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和4年度)提出の産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。
- 4 第2面(様式3-2)には、前年度(令和4年度)の産業廃棄物処理実績に関して①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面(様式3-2)の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。
- 6 第1面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

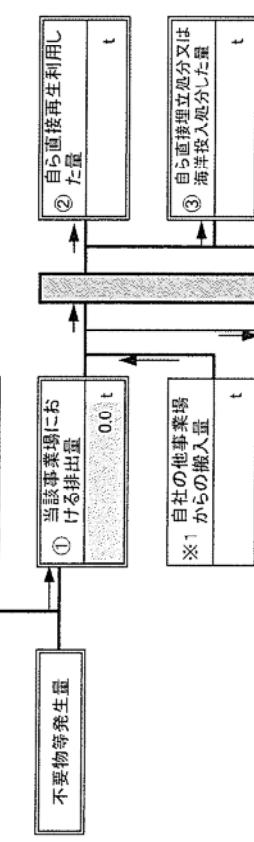
令和4年度に記載した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

事業場名： 株式会社ファーマインド 川崎センター
事業場名： 株式会社ファーマインド 川崎センター

本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる隣接物の処理用

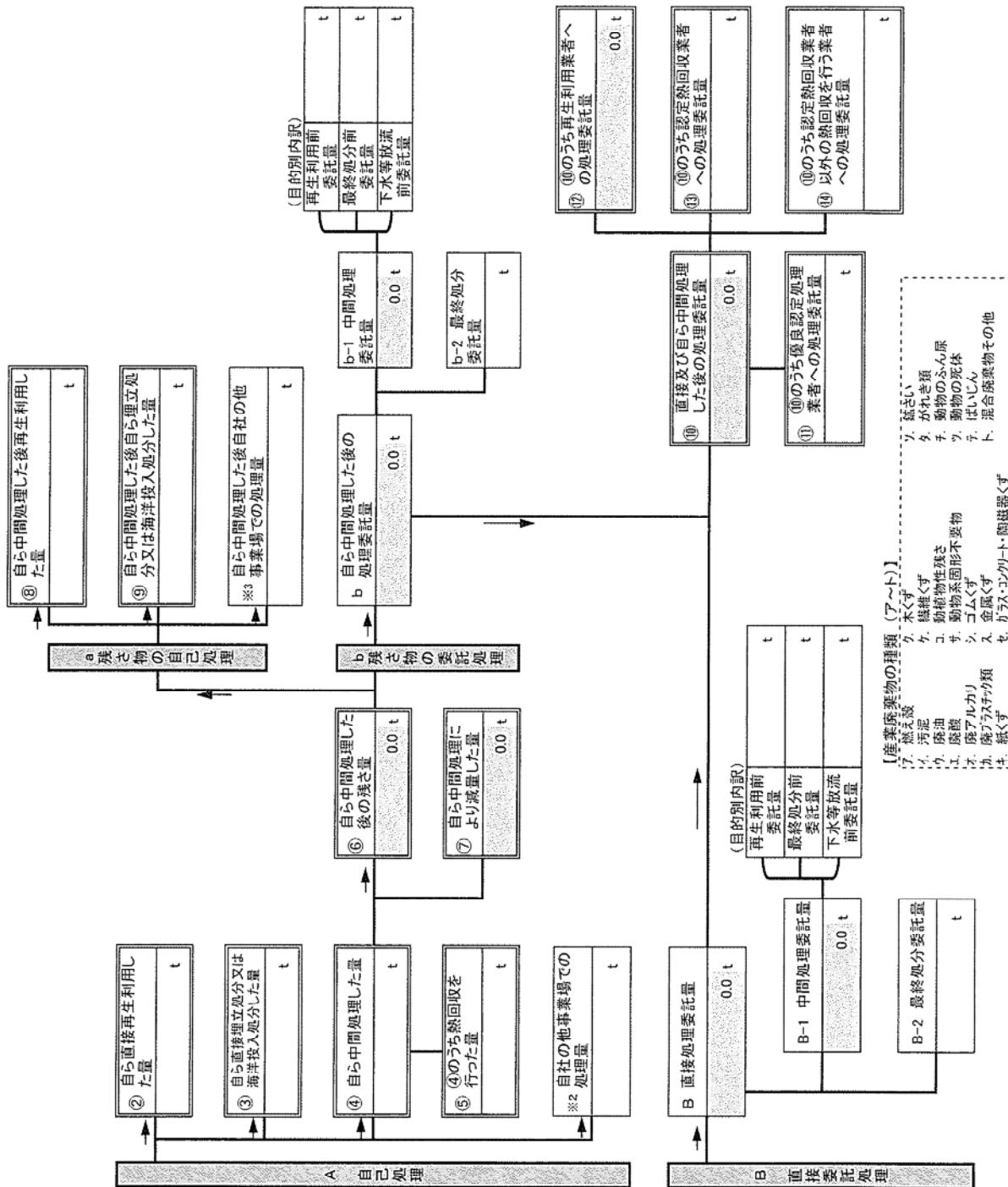
フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨ 自ら中間処分又は海洋投入を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行いうる業者の処理委託量	0.0 t	0.0 t



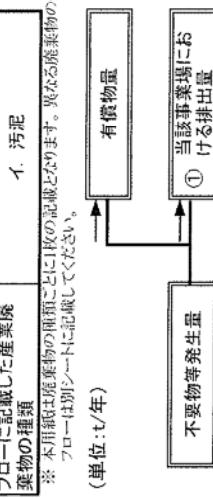
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

事業場名称：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	自主
-----	----	----

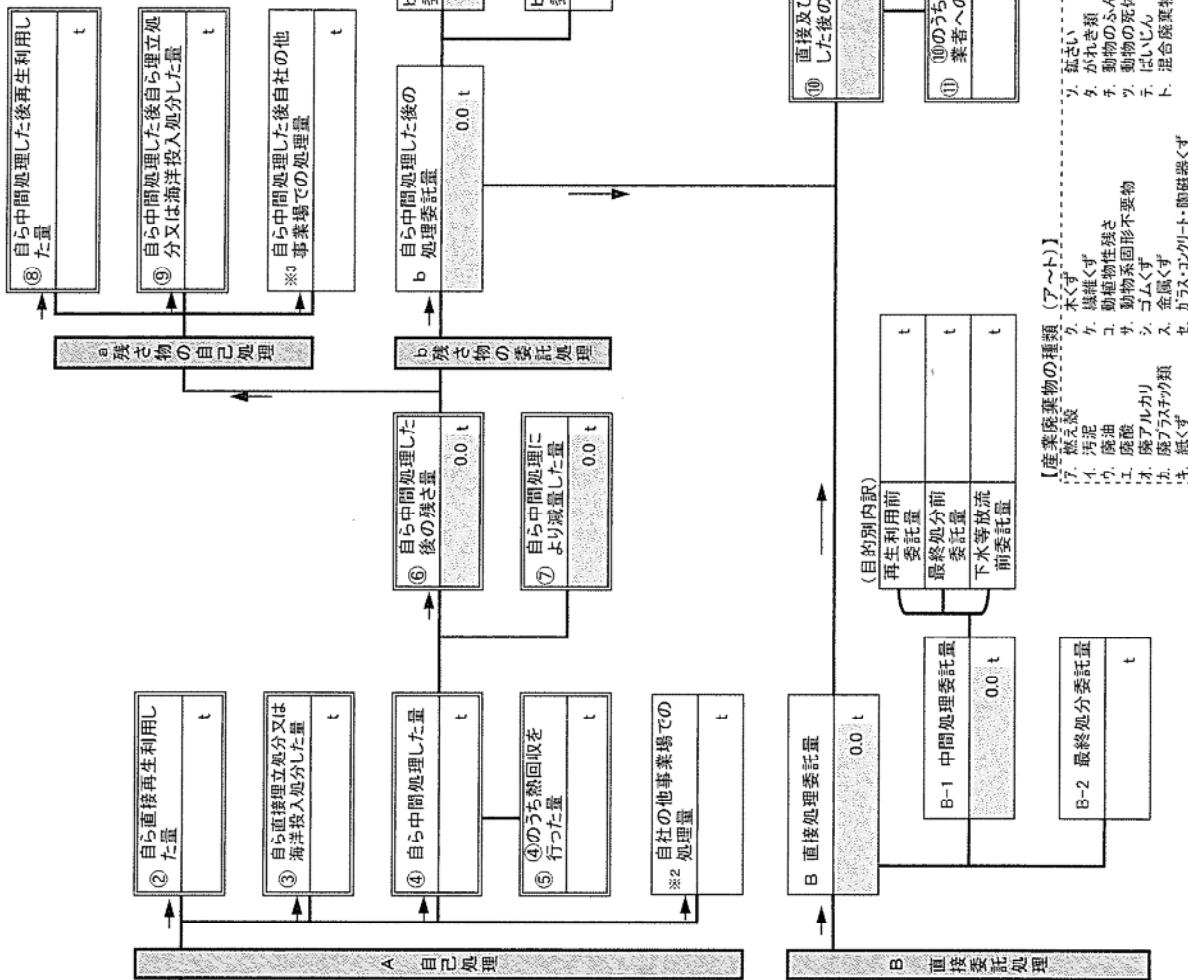
令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果



1. 汚泥

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記録となります。異なる種類の廃棄物の処理
フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。
右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理による減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨ 自ら中間処理立又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

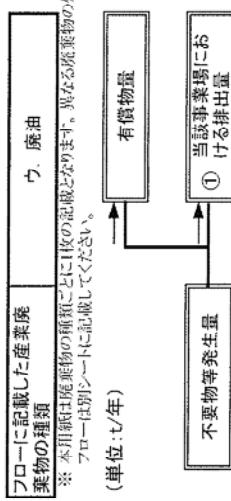
【産業廃棄物の種類】

- 1. 燃え残り、木くず、葉くず、がれき類
- 2. 汚泥、廃油、廃液、動物の死体
- 3. 動植物性穀さし、動物の死体
- 4. 動植物系固形不溶物
- 5. 金属くず、ガラス・プラスチック類
- 6. リサイクル・耐燃器等、混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

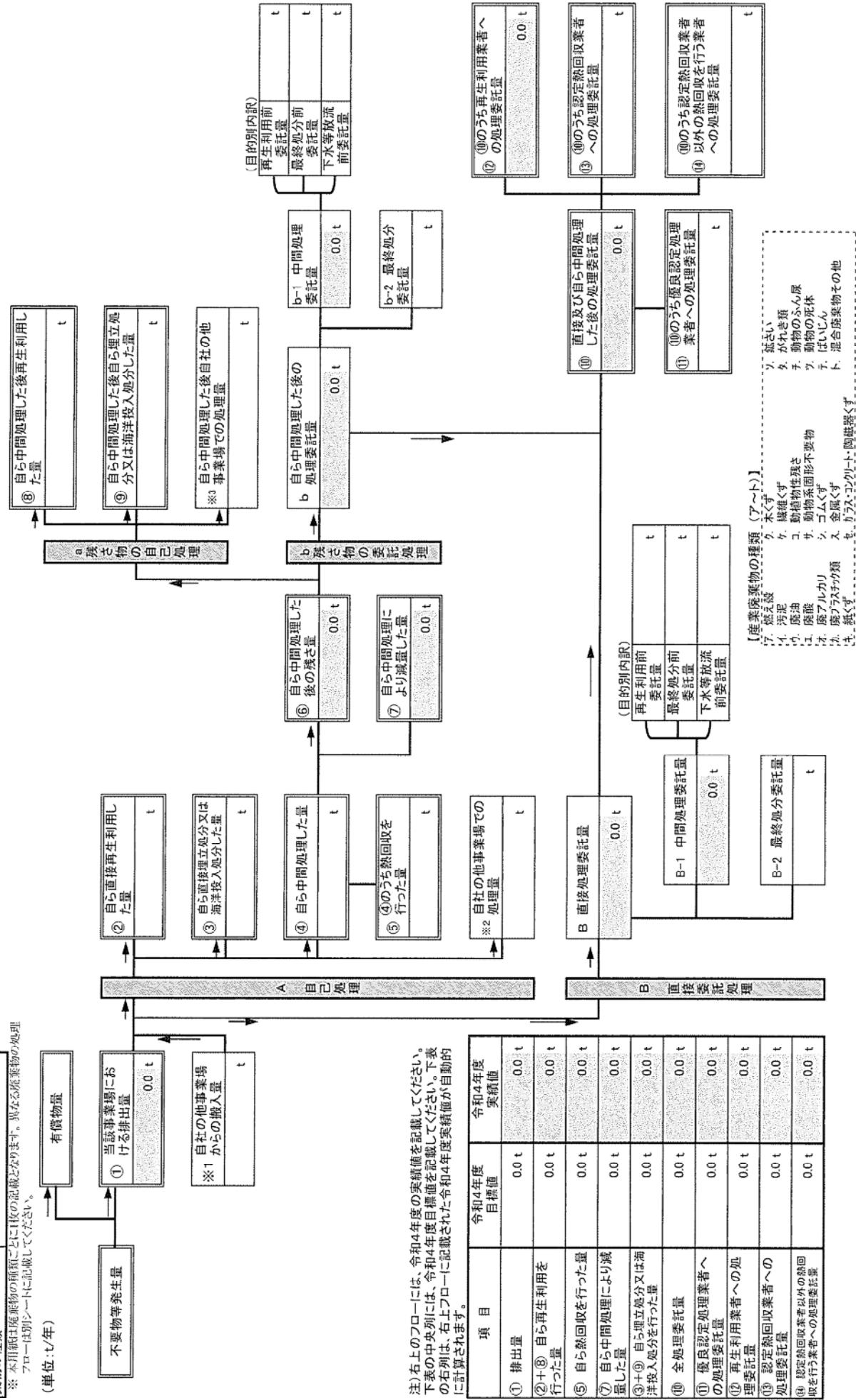
令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果
 (単位:t/年)



事業場名称：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	○	自主
-----	----	---	----

(第2面)



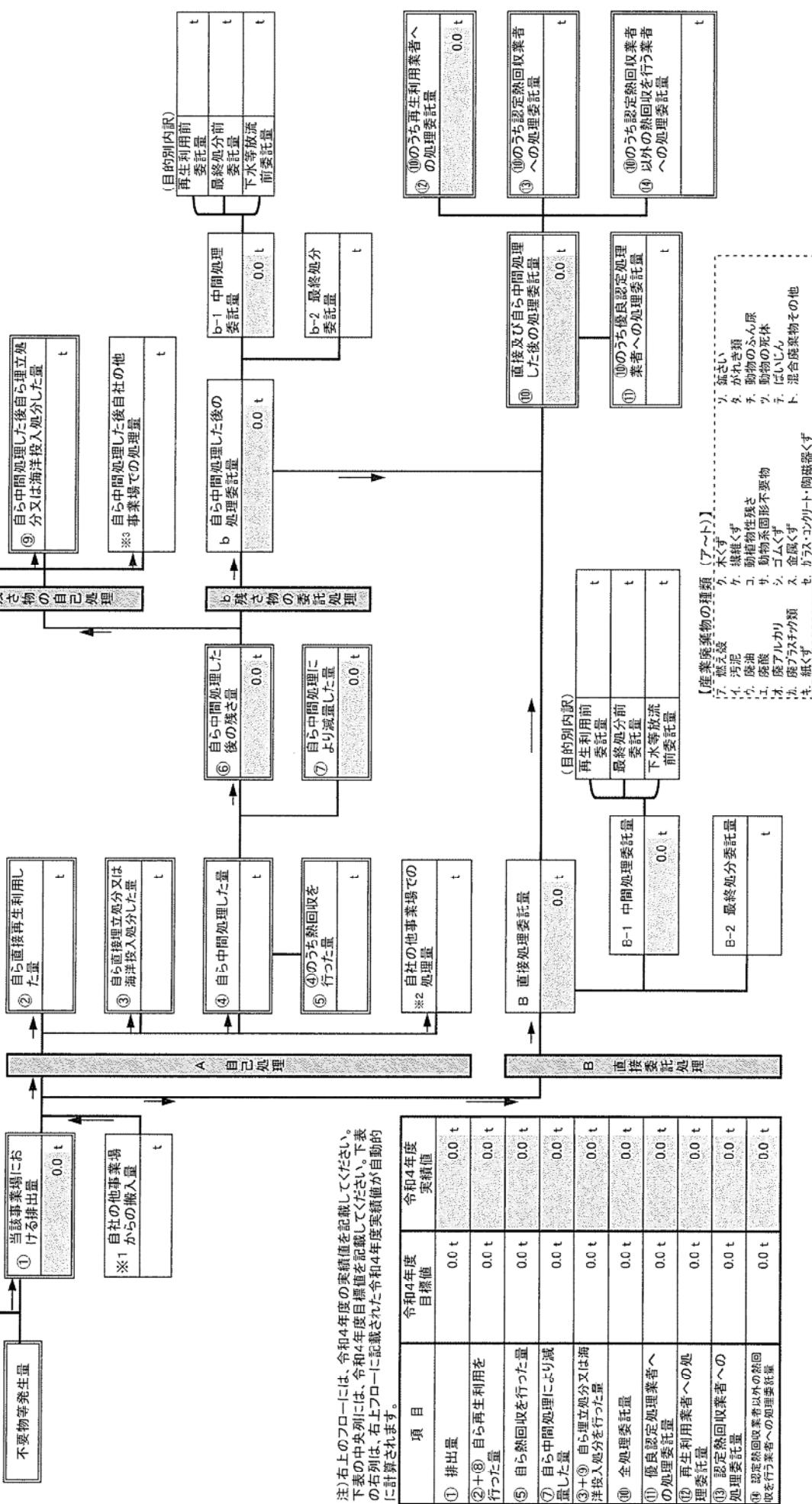
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類
※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理
フローは別シートに記載してください。

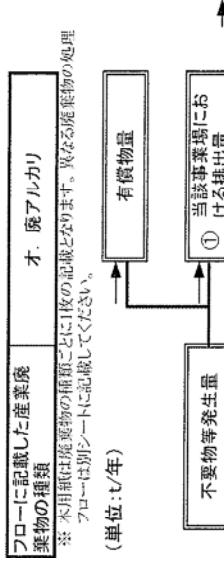
(単位:t/年)
① 当該事業場における排出量
0.0 t
※1 自社の他事業場からの搬入量
t
② 自ら直接再生利用した量
t
③ 海洋投げ入れ処分した量
t
④ 自ら中間処理した量
t
⑤ 行った量
t
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減った量
0.0 t
⑧ 自ら中間処理した後自ら再生活用した量
t
⑨ 分又は海洋投げ入れ処分した量
t
⑩ 自ら中間処理した後自社の他の事業場での処理量
t
※2 事業場での処理量
t
⑪ 残さ物の自己処理
t
⑫ 残さ物の委託処理
t
⑬ 認定熱回収を行つた量
t
⑭ 優良認定処理業者への処理委託量
t
⑮ 再生利用業者への処理委託量
t
⑯ 認定熱回収業者への処理委託量
t
⑰ 異なる熱回収業者への処理委託量
t
⑱ 有償物量
t



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

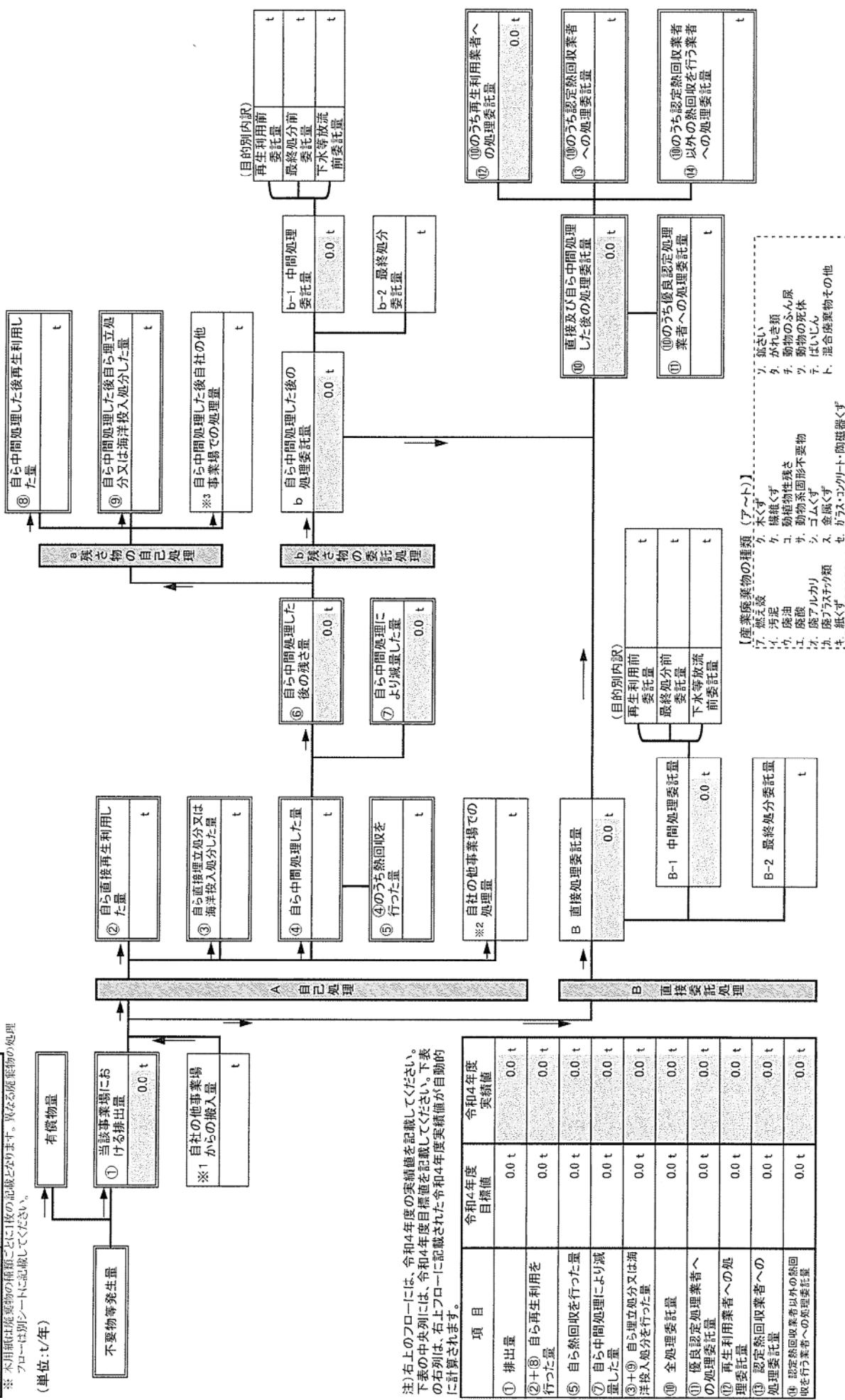
令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果



事業場名称：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	自主
-----	----	----

(第2回)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

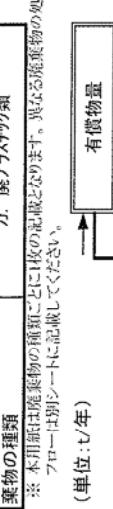
別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに収められています。異なる廃棄物の処理

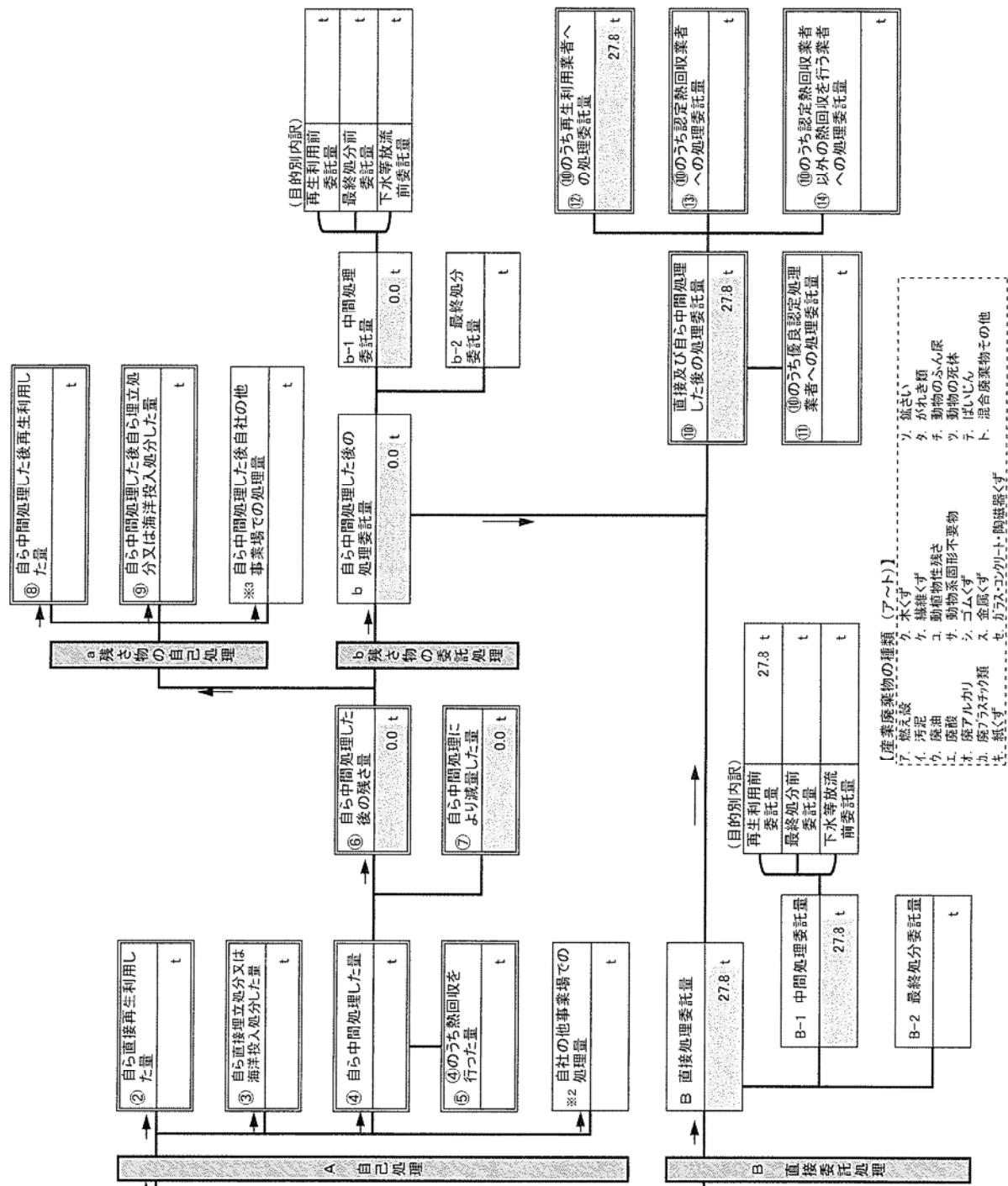
フローは個別シートに記載してください。

(単位:t/年)



事業場名称：株式会社アーマンド 川崎センター

3-2 法定 ○ 自主



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	43.0 t	27.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	43.0 t	27.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用率への処理委託量	43.0 t	27.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 無害化処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑮ 廃棄物の種類(ア～ト)		
⑯ 廉価物の種類(ア～ト)		
⑰ 廉価物の種類(ア～ト)		
⑱ 廉価物の種類(ア～ト)		
⑲ 廉価物の種類(ア～ト)		

【産業廃棄物の種類(ア～ト)】
ア.燃え残り
イ.汚泥
ケ.機械部品
ユ.廃油
エ.動物植物系廃棄物
オ.ゴムくず
オ.アルカリ
オ.廃ガラス
オ.紙くず
セ.リラックソルト・陶磁器くず
テ.混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	キ、紙くず
※ 本用紙は廃棄物の原類ごとに区分の記載とあります。異なる廃棄物の処理	(該当業種(ノハレ)、紙又は紙加工品の製造業、新聞雑誌業(新聞雑誌紙を用いて印刷発行を行うもの)、出版業(出版物を行なうもの)、製本業、印刷物加工業、達業(工作物の新規・改築・除去に伴つて生じたもの)

フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

事業場名称：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	自主
-----	----	----

「紙くず」には廃紙精分があり、該当業種以外では一般廃棄物となり「報告対象外

です。

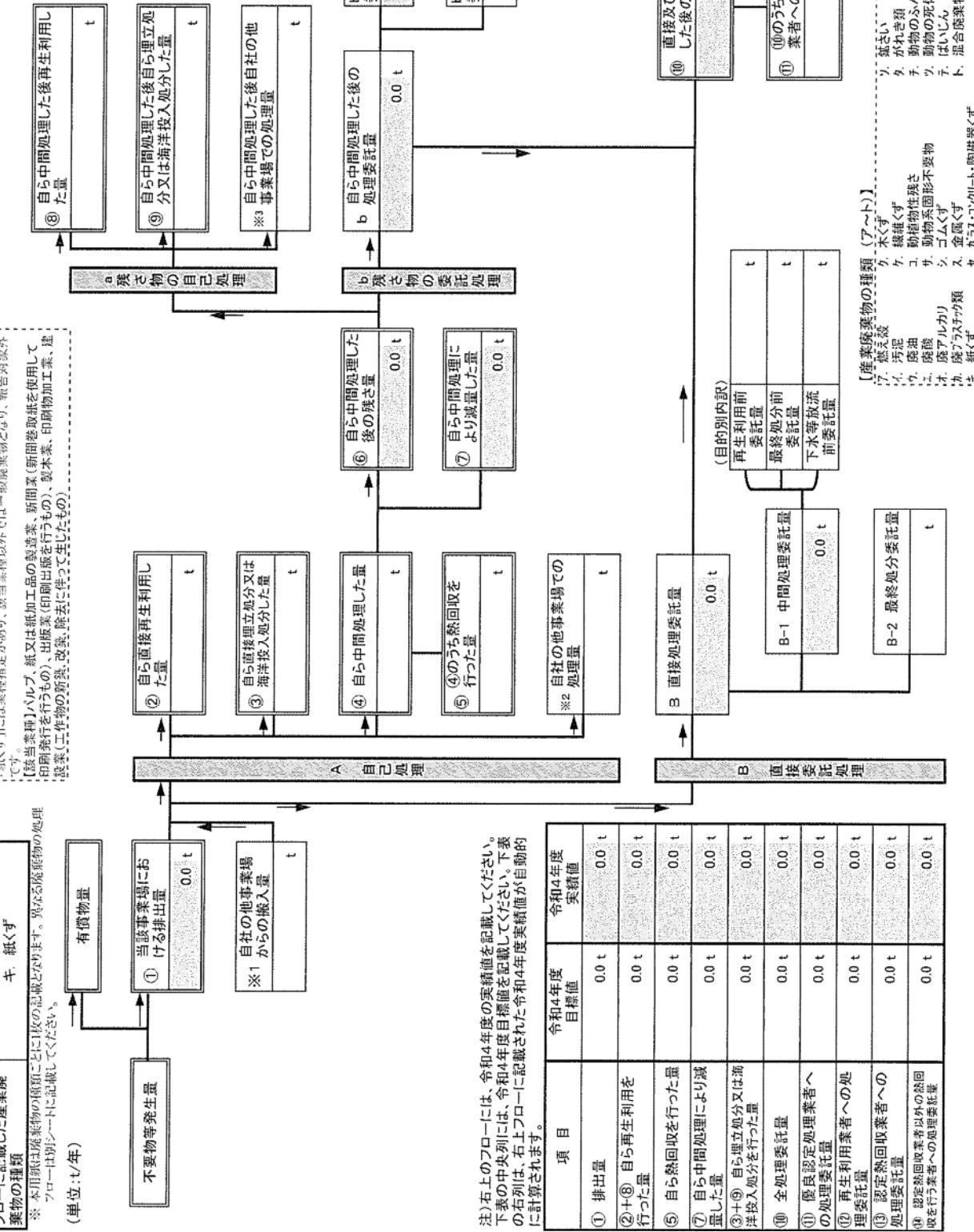
該当業種の場合は区分の記載とあります。

※

本用紙は廃棄物の原類ごとに区分の記載とあります。異なる廃棄物の処理

フローは別シートに記載してください。

。



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。
右表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自然再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自然回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自然中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自然処分又は海洋投入を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用率への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者の処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した事業場 ク.木くず
事業場の種類

※ 本年期は廃棄物の種類ごとに区分の記載となります。異なる廃棄物の処理
フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

不 物 等 発 生 量

当該事業場における排出量
8.0 t

※1 自社の他事業場
からの搬入量
t

自ら直接再生利用し
た量
t

自ら直接処理立
候分又は
海洋投
入処分し
た量
t

A 自己処理

自ら中間処理した
後の残さ
量
0.0 t

自ら中間処理した
後自ら処理
した量
0.0 t

b 残
さ
物
の
委
託
処
理

(目的別内訳)
再生利用前
委託量
最終処分前
委託量
下水等放流
前委託量
t

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表
の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的
に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	9.0 t	8.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら処理立候分又は海洋投 入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	9.0 t	8.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	9.0 t	8.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回 收を行なう業者の処理委託量	0.0 t	0.0 t

※2 处理量
t

B 直接
委
託
処
理

(目的別内訳)
再生利用前
委託量
最終処分前
委託量
下水等放流
前委託量
t

【産業廃棄物の種類 -「ア～ヒ」】
ア.燃え資
イ.機械
ウ.洗浄
エ.動物植物系生産さ
オ.動物系固形不要物
オ.廃アレカリ
シ.ゴムくず
エ.金属くず
セ.ガラス・シリカ・陶磁器くす
タ.がれき類
チ.動物の死体
チ.ばいじん
ト.混合廃棄物その他

B-2 最終処分委託量
t

事業場名称 : 株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2 法定
6
自主

(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

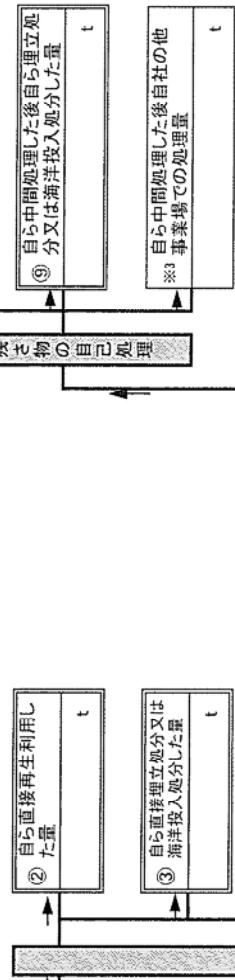
別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

令和4年度に記載した産業廃棄物の種類	ケ、雑種くず
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

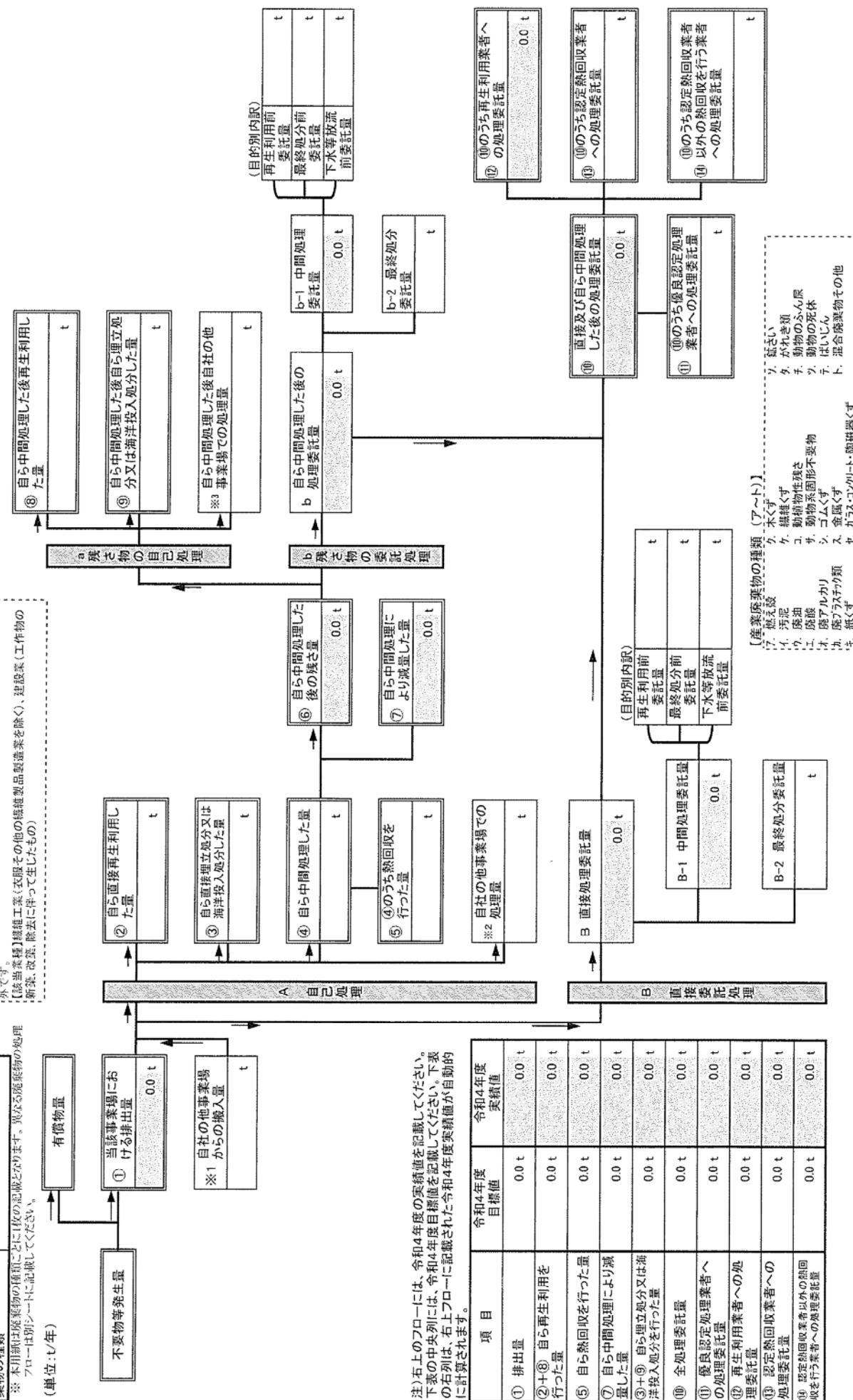
「継続くす」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
※該当業種基準工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改修、撤去に伴って生じたもの)



事業場名称：株式会社アーマンド 川崎センター

3-2 法定 D 自主

(第2面)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物

廃棄物の種類 **コ 動植物性残さ**

※ 本用紙は既設施設の種類ごとに次の点並びます。異なる施設において販売として使用

した動物又は植物の固形状の不要物

(単位:t/年)

不要物等発生量

当該事業場における排出量

3,160.0 t

t

自家の他事業場からの搬入量

0.0 t

t

自ら直接再生利用し

② た量

0.0 t

t

残さ物の自己処理

⑤ た量

0.0 t

t

自ら中間処理した後再生利用し

⑥ た量

0.0 t

t

自ら中間処理した後自ら埋立処理

④ 分又は海洋投入処分した量

0.0 t

t

自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

※3 事業場での処理量

0.0 t

t

自ら直接再生利用し

② た量

0.0 t

t

自ら中間処理した後再生利用し

⑥ た量

0.0 t

t

自ら中間処理した後自ら埋立処理

⑤ 分又は海洋投入処分した量

0.0 t

t

自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

※3 事業場での処理量

0.0 t

t

A 自己処理

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表
の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的
に計算されます。

項目	令和4年度	
	目標値	実績値
① 排出量	3,346.0 t	3,160.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	3,346.0 t	3,160.0 t
⑪ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	3,346.0 t	3,160.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 組合熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑮ 純粋熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑯ 熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑰ 純粋熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑲ 純粋熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

[産業廃棄物の種類(ア~ト)]

ア.燃え盛り

ケ.燃錆くず

タ.がれき類

イ.汚泥

チ.動物植物系残さ

ツ.動物のふん尿

オ.廃液

チ.動物系固体不要物

テ.ゴムくず

オ.廃アルカリ

ス.金属くず

セ.ガラス・ゴルゴト・陶磁器くず

タ.混合廃棄物その他

事業場名称 : 株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2 法定 O 自主

(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

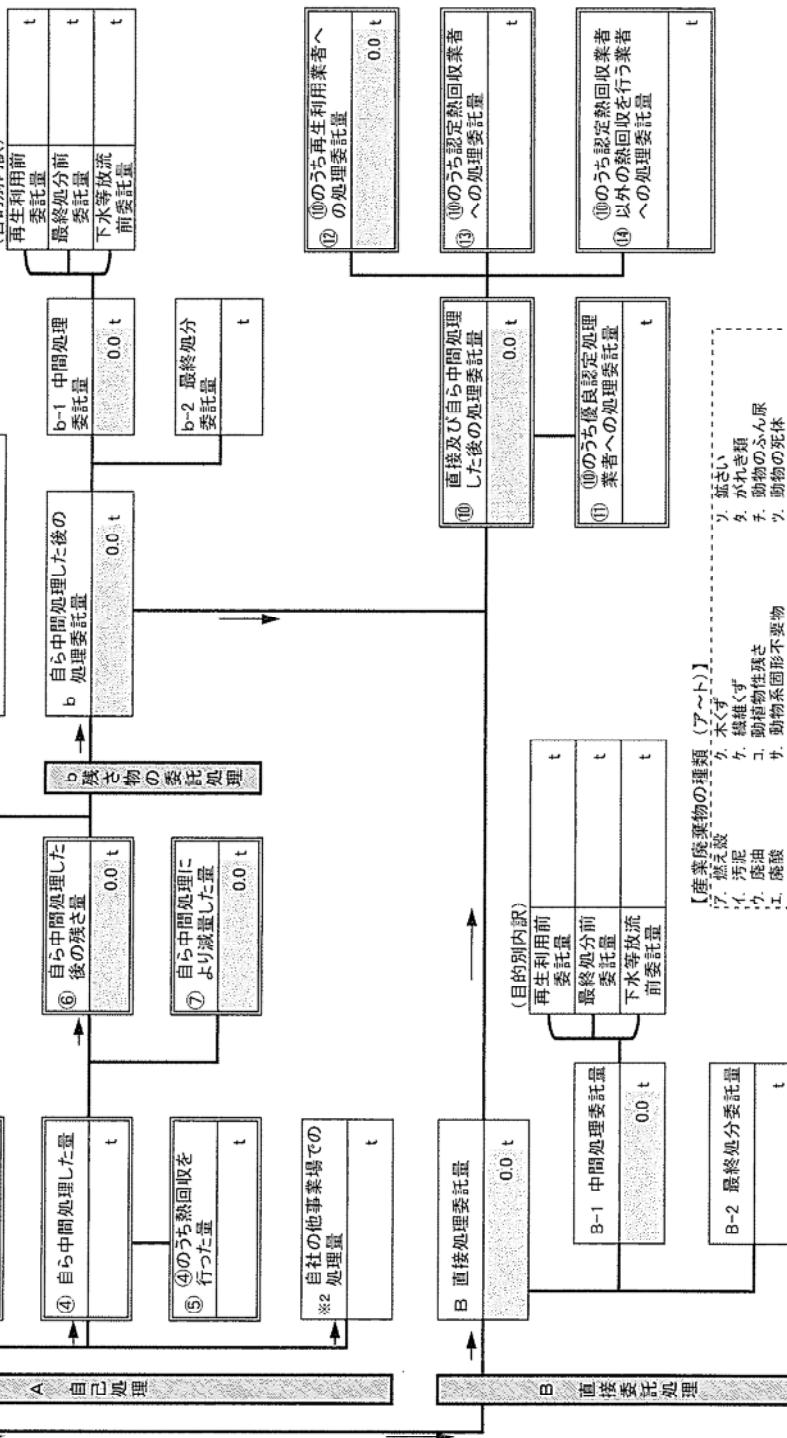
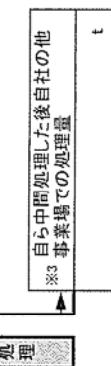
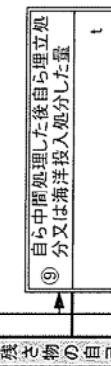
別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	サ. 動物系固形不要物
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに次の記載ください。 フローは別シートに記載してください。	
(単位:t/年)	
不要物等発生量	

動物系固形不要物には系母指定期があり、該当業種以外では一般廃棄物など
り、報告対象外です。

該当業種においてとさつし、又は解体した歯髄及び食鳥処理場において
食鳥処理をいた食鳥による回収の不要物



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表
の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的
に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自然回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨ 分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 非認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【参考】廃棄物の種類(ア～ト)

- ア. 燃え盛り、木くず
- イ. 繊維くず
- ウ. 汚泥
- エ. 動植物性瓦さ
- オ. 動植物系固形不要物
- オ. ハ. 食品アルカリ
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. カラス・コウモリ・陶磁器くず
- タ. がれき類
- チ. 動物の死体
- ヲ. はいん
- ト. 混合廃棄物その他

事業場名称：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2 法定 主自主

(第2面)

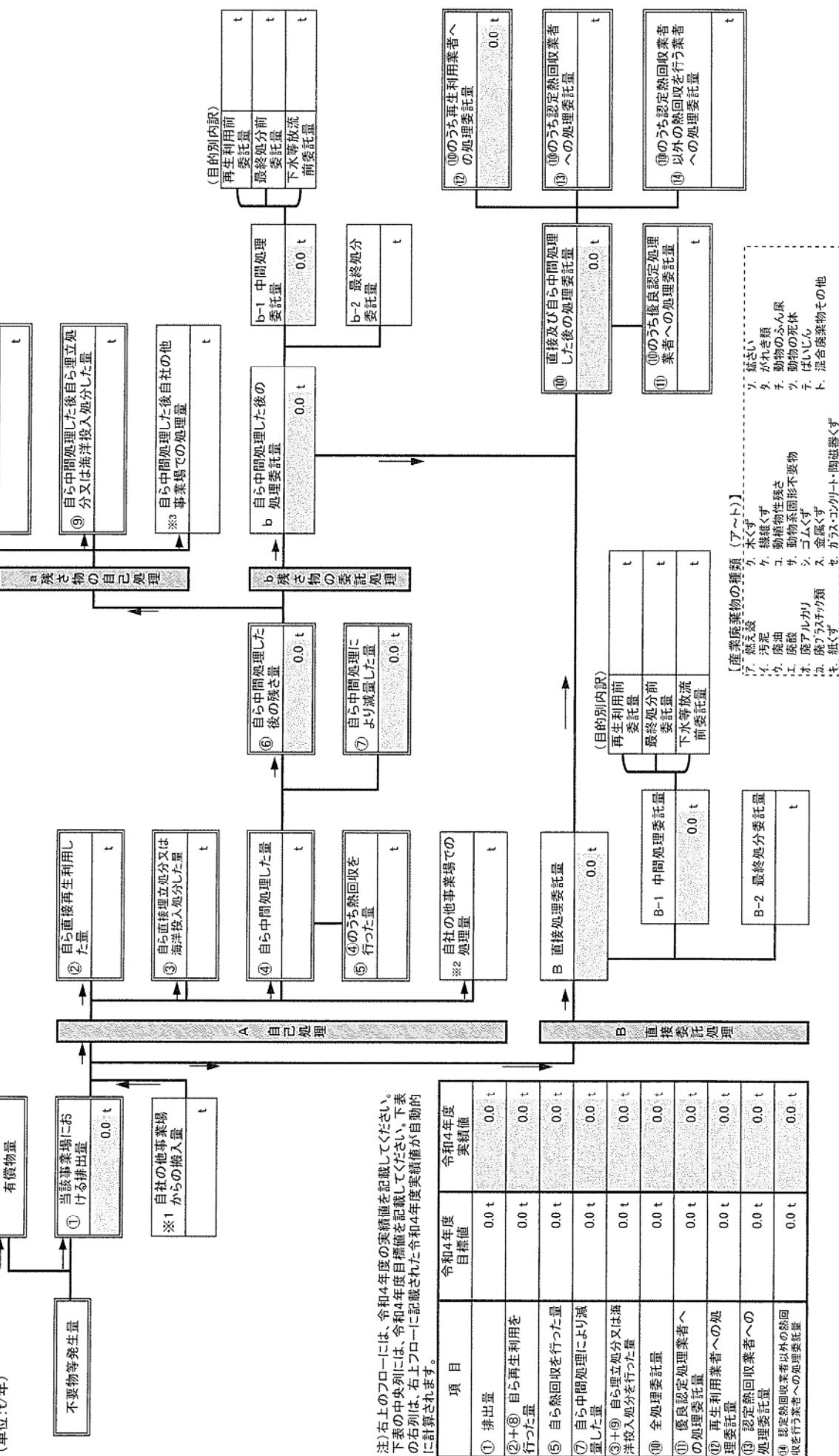
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	シ.ゴムくず
※ 本用紙は既設施設の種類ごとに区分されています。異なる施設の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)



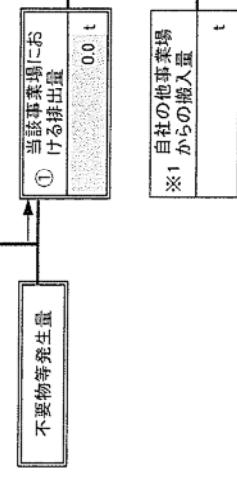
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス、金属くず
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに記載されています。異なる産業廃棄物の処理	
（単位:t/年）	

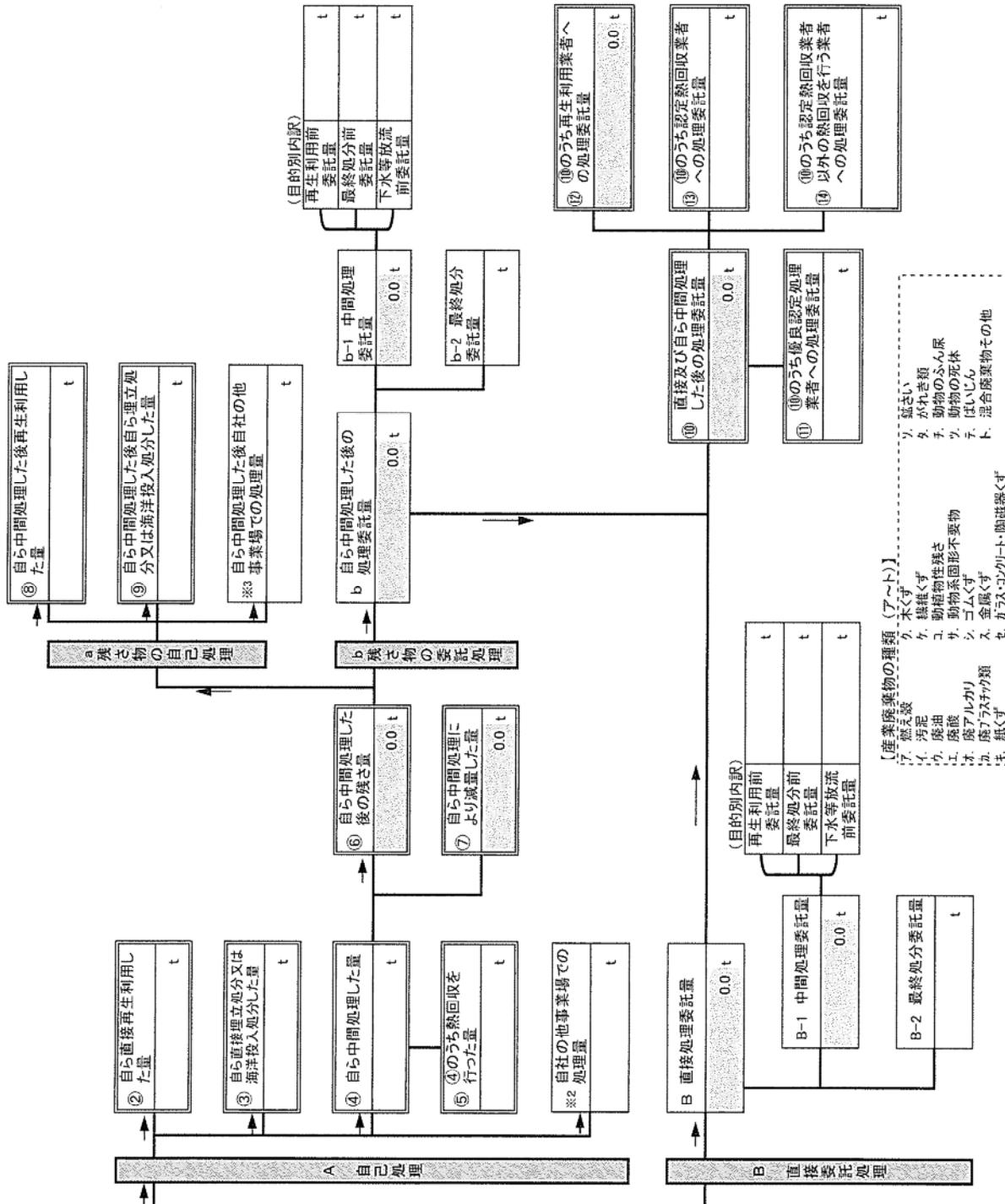
フローは別シートに記載して下さい。



事業場名称 : 株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	自主
O		

(第2面)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら処理立入り処分又は海洋投入を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用率への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱定熱回収業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
【産業廃棄物の種類(ア～ト)】		
ア.燃え残り		
ケ.燃難物		
イ.汚泥		
ユ.動植物系廃棄物		
エ.廃液		
オ.ゴムくず		
オ.アルカリ		
ハ.腐ラバチカ類		
ス.金属くず		
セ.ガラス・セメント・陶磁器くず		
ホ.紙くず		

タ.がれき類
チ.動物のふん便
リ.動物の死体
テ.ばいじん
ト.混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	セ. ガラス・エクリート・陶磁器くず
※ 本用紙は既製物の種類ごとに記載となります。異なる産業物の処理	

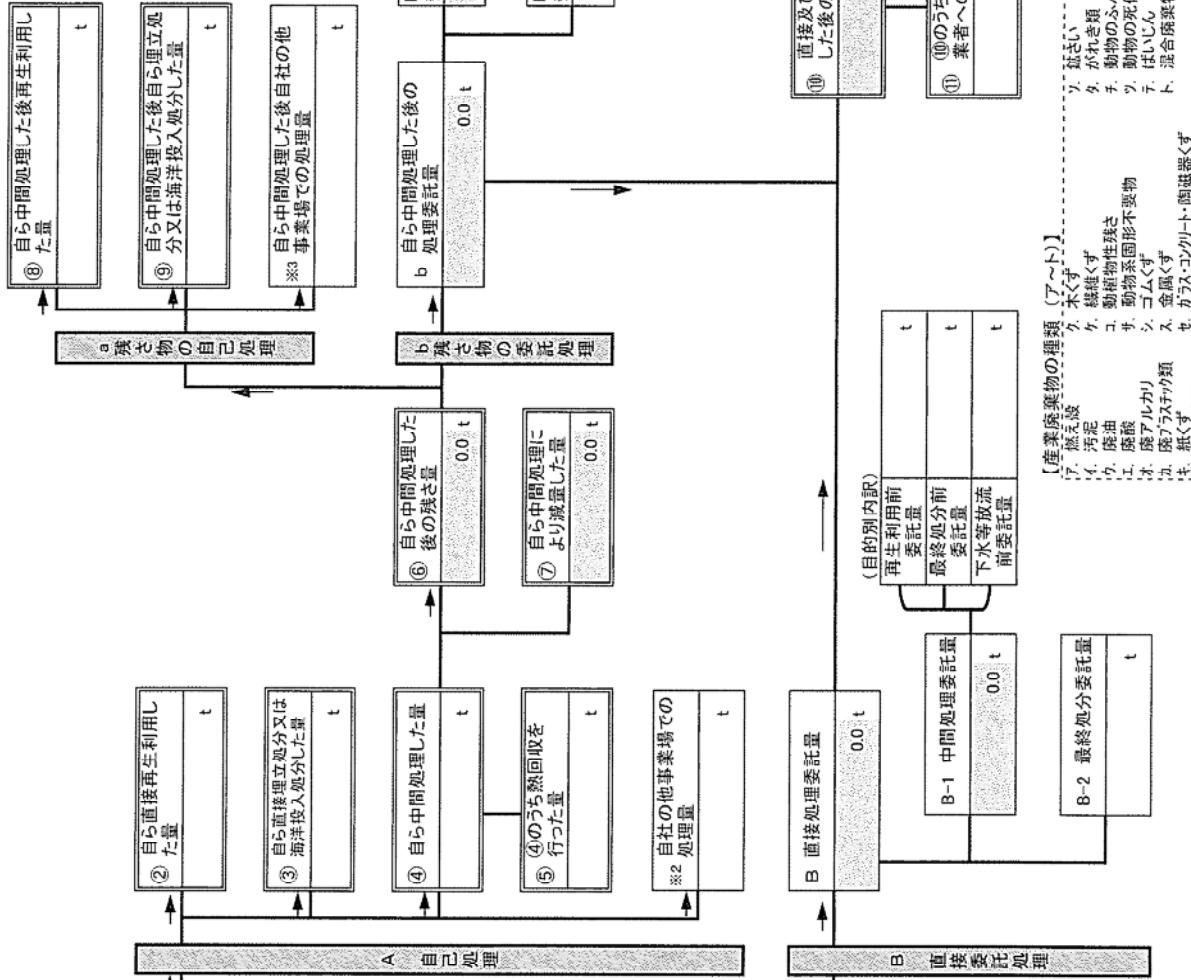
フローは剪切にて記載してください。

(単位:t/年)

不要物等発生量	
	0.0 t

① 当該事業場における排出量	0.0 t
	※1 自社の他事業場からの搬入量

② 有償物量	0.0 t
	※2 自社の他事業場での処理量



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら立地の他事業場への処理を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 慶良院定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行った業者の処理委託量	0.0 t	0.0 t

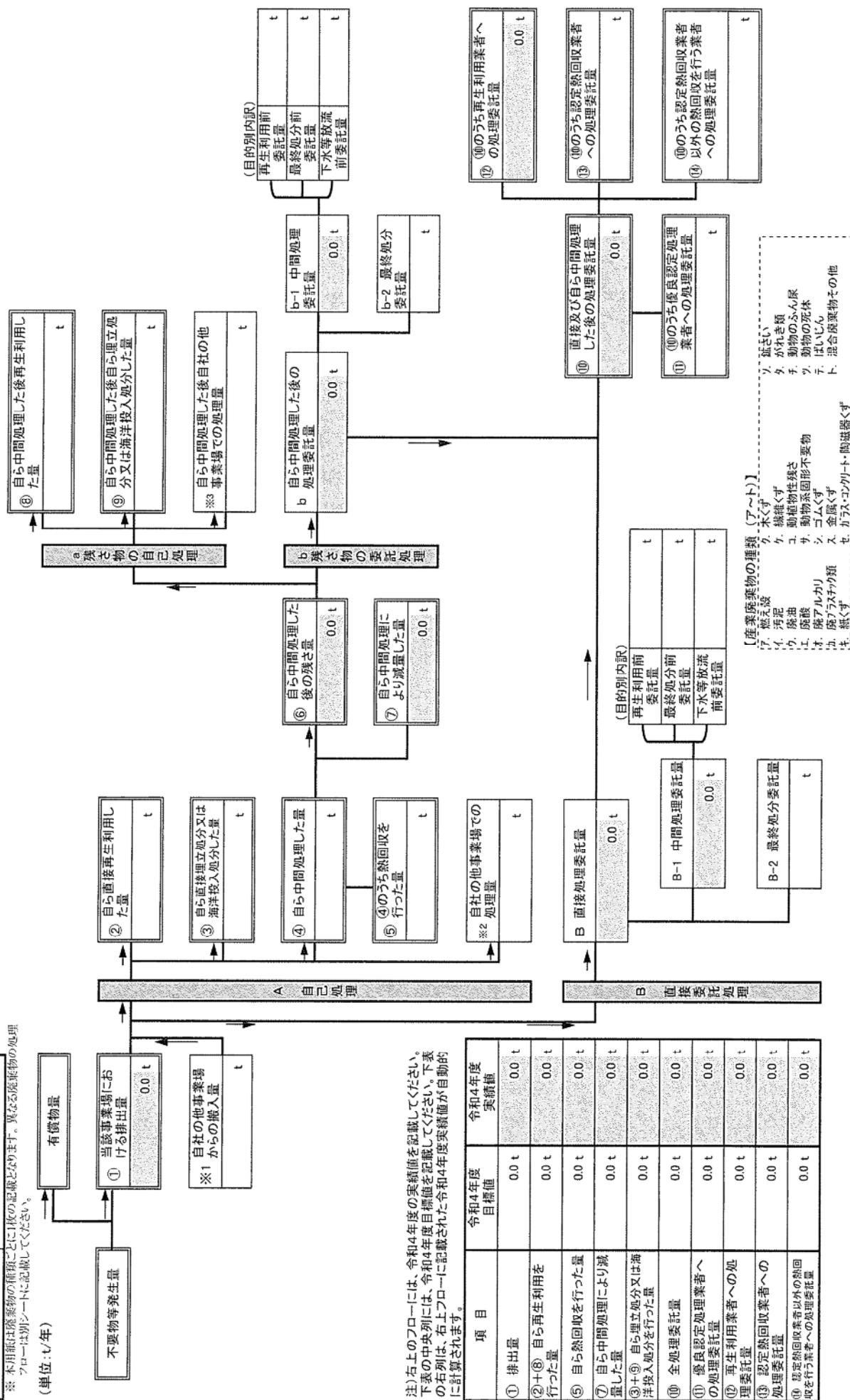
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	令和4年度実績量
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに記載してください。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	0.0 t

(単位:t/年)



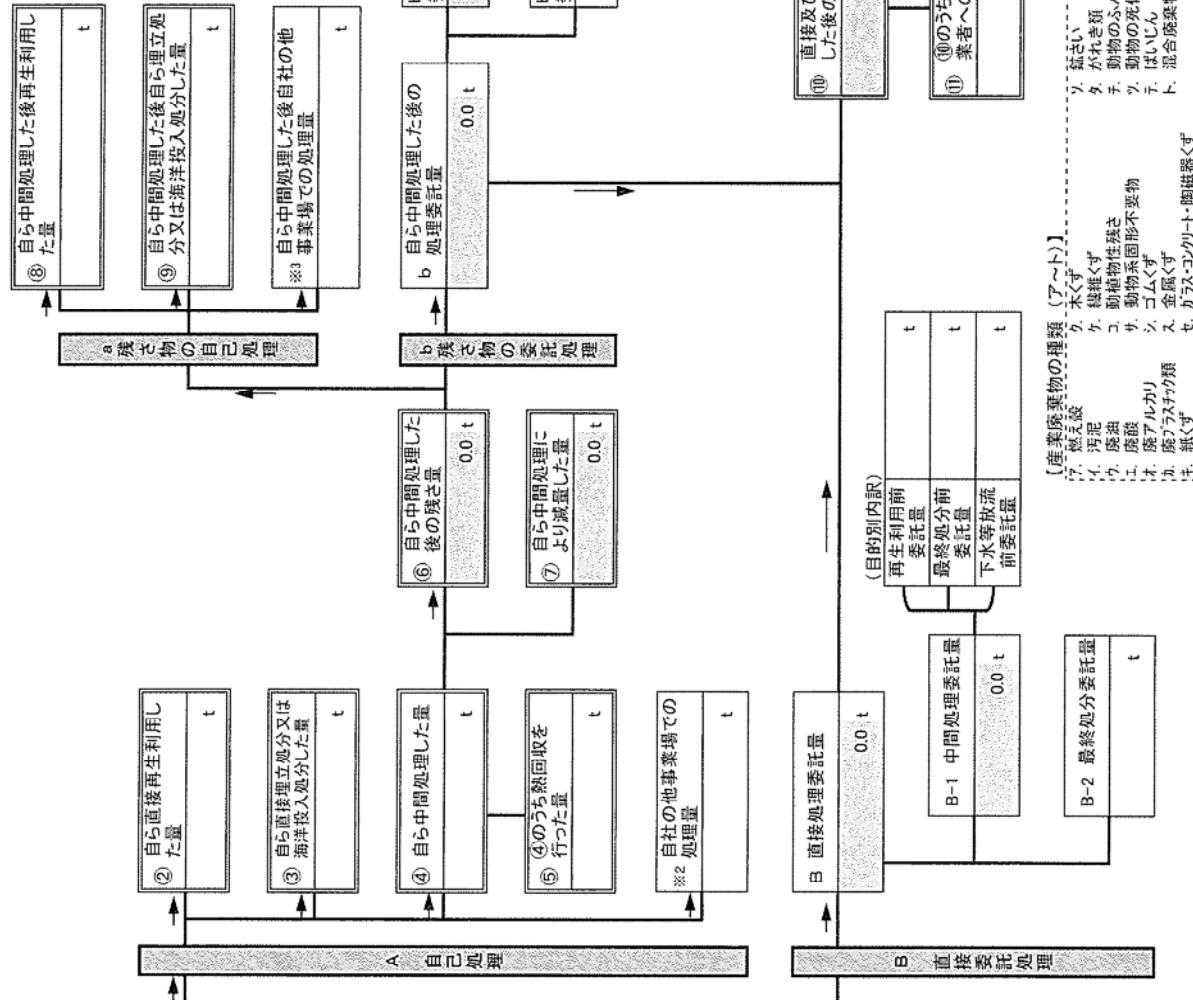
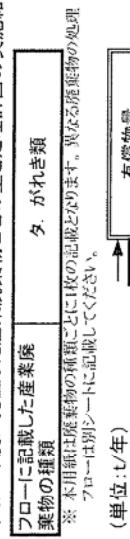
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

事業場名称：株式会社ファーマイド 川崎センター

3-2	法定	自主
-----	----	----



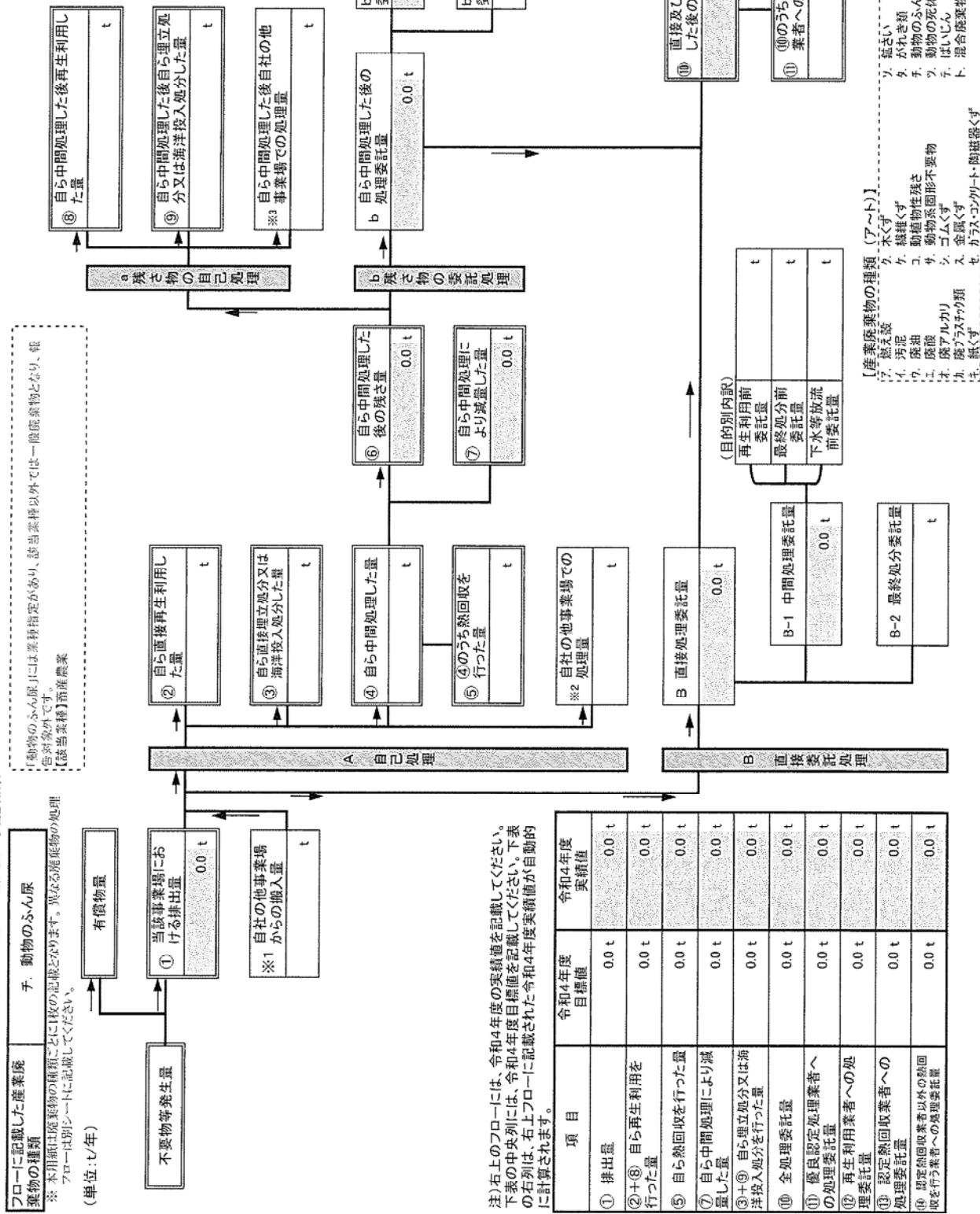
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

事業場名称：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	自主
①		



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類
※本川敷北尾原町の種類ごとに次の記載となります。異なる産業廃棄物の処理

フローは別シートに記載してください。
該当業種ごとに記載ください。

(単位:t/年)

動物の死体
※本川敷北尾原町の種類ごとに次の記載となります。異なる産業廃棄物の処理

対象外です。

該当業種

※本川敷北尾原町の種類ごとに次の記載となります。異なる産業廃棄物の処理

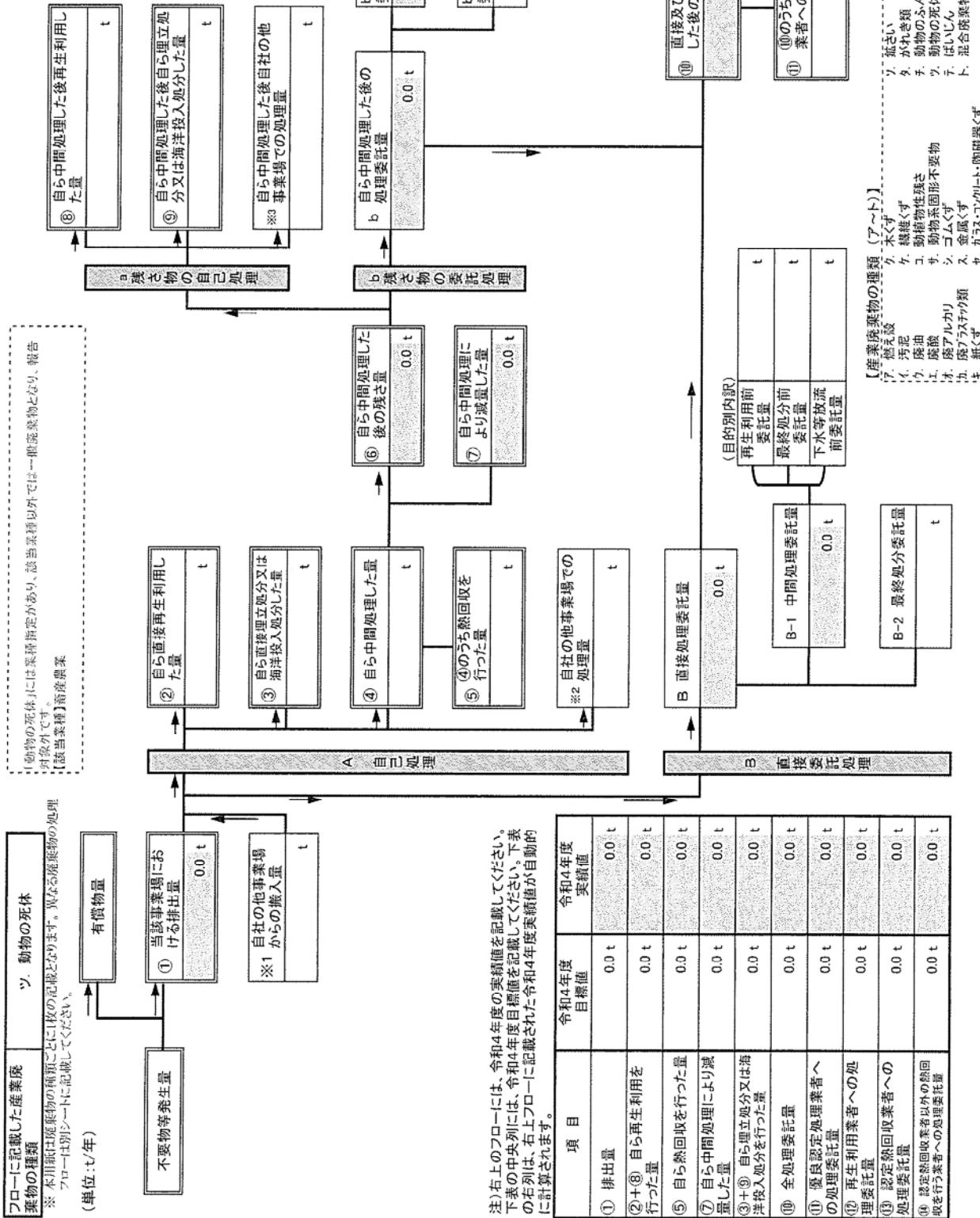
該当業種

事業場名 :

株式会社ファーマイント 川崎センター

3-2 法定 自主

(第2面)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

事業場名称：株式会社ファーマサイド 川崎センター

3-2 法定 0 自主

フローに記載した産業廃棄物
棄物の種類 テ、ばいじん
※本用紙は危険廃棄物の種類ごとに次の記載となります。異なる危険廃棄物の処理
フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

不要物等発生量
① 当該事業場における排出量 0.0 t

自社の他事業場からの搬入量
※1 有償物量

② 自ら直接再生利用し
た量 t

③ 自ら直接処理立替分又は
海洋投入処分した量 t

④ 自ら中間処理した量 t

⑤ (4)のうち熱回収を行った量 t

⑥ 自ら中間処理した後
自ら埋立処理した量 t

⑦ 自ら中間処理に
より減量した量 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用し
た量 t

⑨ 分又は海洋投入処分した量 t

⑩ うちは熱回収を行った量 t

※2 事業場での
処理委託量 t

A 自己処理

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表
の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的
に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 豊良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 豊良認定回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

B 直接委託量
※2 処理委託量 t

B-1 中間処理委託量
0.0 t

(目的別内訳)
再生利用前
委託量
最終処分前
委託量
下水等放流量
前委託量 t

⑮ うちは熱回収業者への処理委託量
0.0 t

⑯ うちは熱回収業者への処理委託量
0.0 t

⑰ うちは熱回収業者への処理委託量
0.0 t

⑱ うちは熱回収業者への処理委託量
0.0 t

B-2 最終処分委託量
0.0 t

(目的別内訳)
再生利用前
委託量
最終処分前
委託量
下水等放流量
前委託量 t

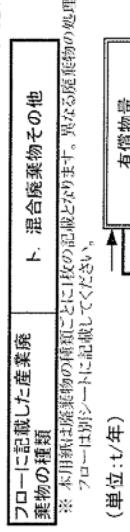
【産業廃棄物の種類 (A~B)】
ア、燃え盛り
イ、燃焼不可
ウ、汚泥
エ、動物植物系汚泥
オ、廃油
エ、廃酸
シ、ゴムくず
オ、アルカリ
セ、腐アスチク類
ス、金属くず
セ、カラス・コクリート・陶磁器くず
リ、紙
タ、がれき類
チ、動物のふん尿
リ、動物の死体
テ、ほしいん
ト、混合廃棄物その他

(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果



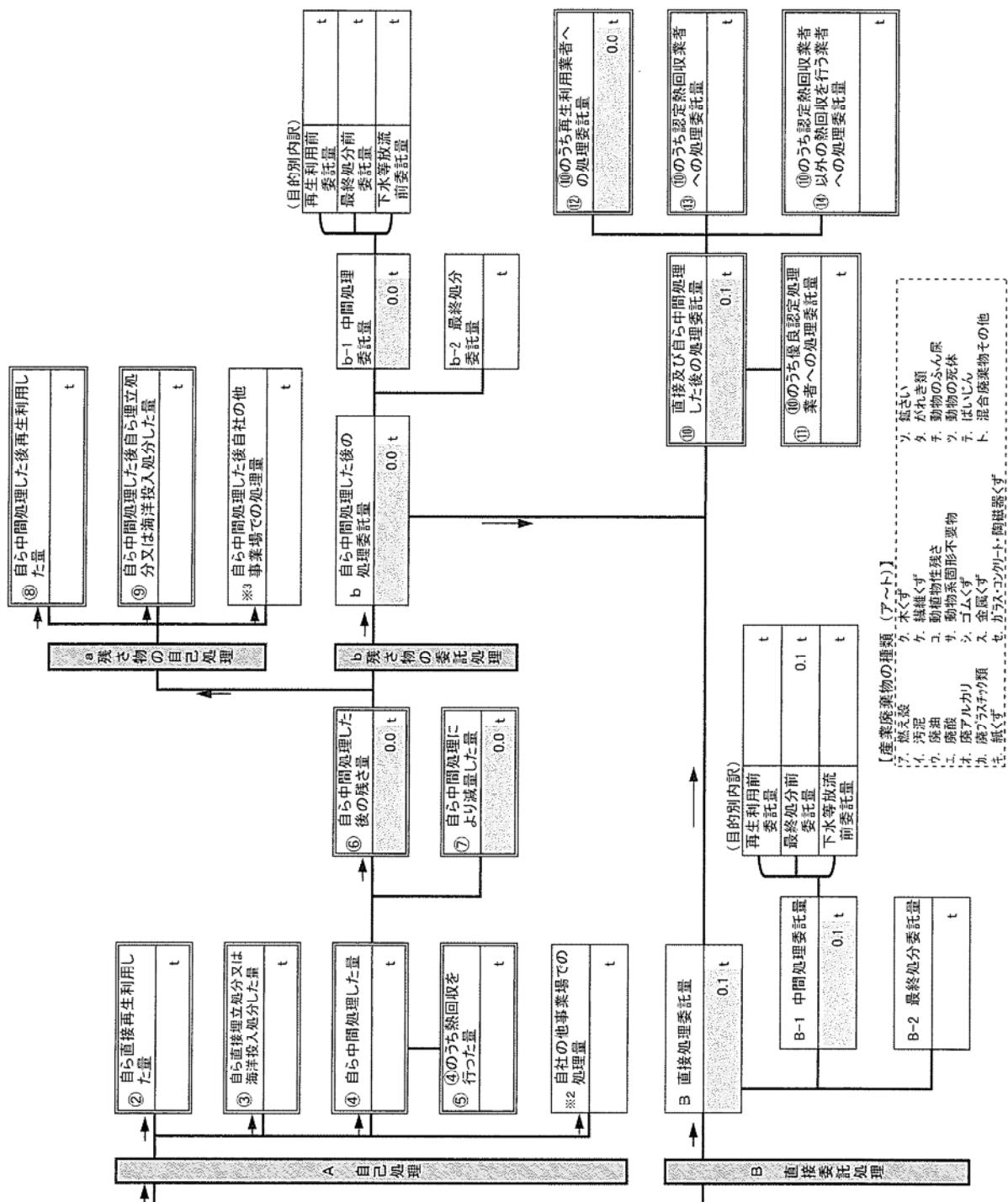
注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値		令和4年度実績値	
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら立派な処理立てる量
① 排出量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら立派な処理立てる量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.1 t
⑪ 燃料認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用率への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑭ 燃料熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

事業場名稱：株式会社ファーマインド 川崎センター

3-2	法定	自主
O		

(第2面)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。
下表の中央列には、令和4年度目標値を記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値		令和4年度実績値	
	再生利用率への処理委託量	直接及び自ら中間処理した後の残さ量	再生利用率への処理委託量	直接及び自ら中間処理した後の残さ量
⑪ 残さ物の自己処理	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.1 t
⑫ 残さ物の委託処理	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.1 t
⑬ 自ら中間処理した後再生利用した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑭ 分又は海洋投入処分した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

B-2 最終処分委託量

【産業廃棄物の種類】

ガス燃え袋
泥炭維くず
汚泥
油油
動植物死体
廃アルカリ
廃アスチカ類
金属類
プラスチック
電機器類
混合廃棄物その他

